

NPOが目指す広域連携ネットワークシステムについて

NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構
理事長 周藤安造

NPOの主な活動

- 多様化する医療ニーズの中で、団塊の世代が後期高齢者となり、医療、介護、福祉サービスが急増するいわゆる「25年問題」に対応する「広域連携ネットワークシステム」の構築と実現を目指した活動を行う。
- コロナ禍により、患者等の移動が抑制されている環境下において、広域連携ネットワークシステムの有効性が生かせるアプリ開発など新しい活動を目指す。

コロナ禍での広域連携ネットワークシステムの役割

患者等人の移動と総医療費を抑制するための活動として以下の支援を行う。

- × オンライン診療支援
- × 遠隔医療支援
- × 人工透析ネットワークシステム
- × 在宅リハビリとネットワークシステム

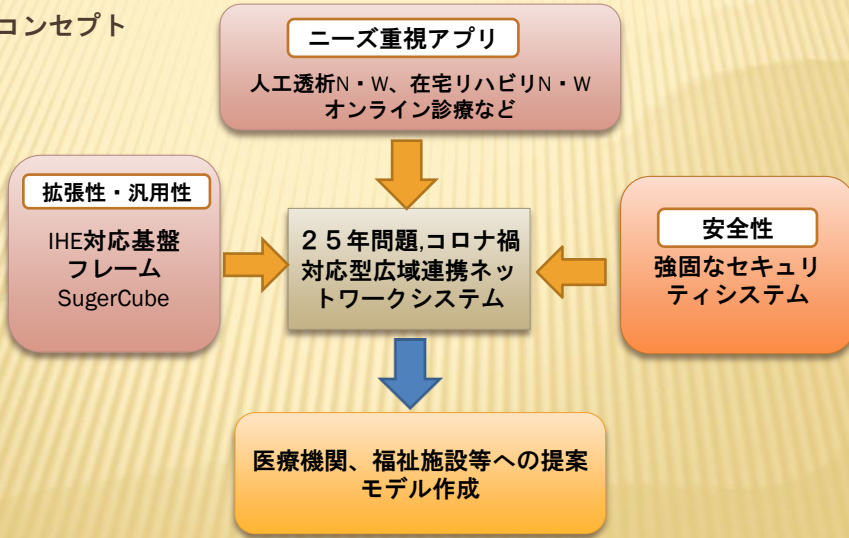
組織と体制

7

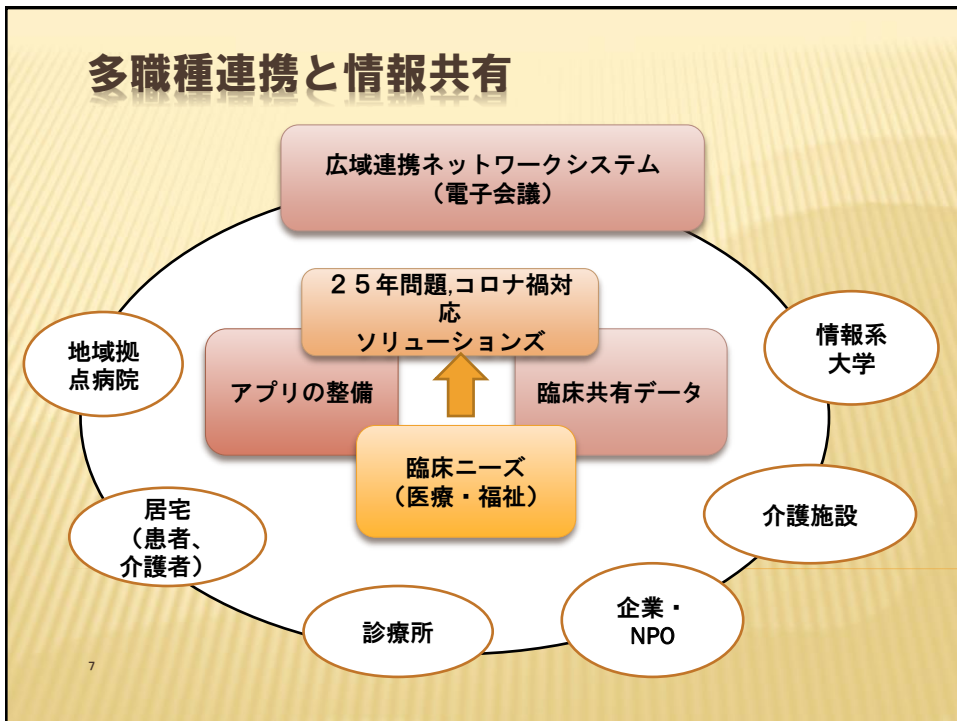


25年問題、コロナ禍対応ソリューション

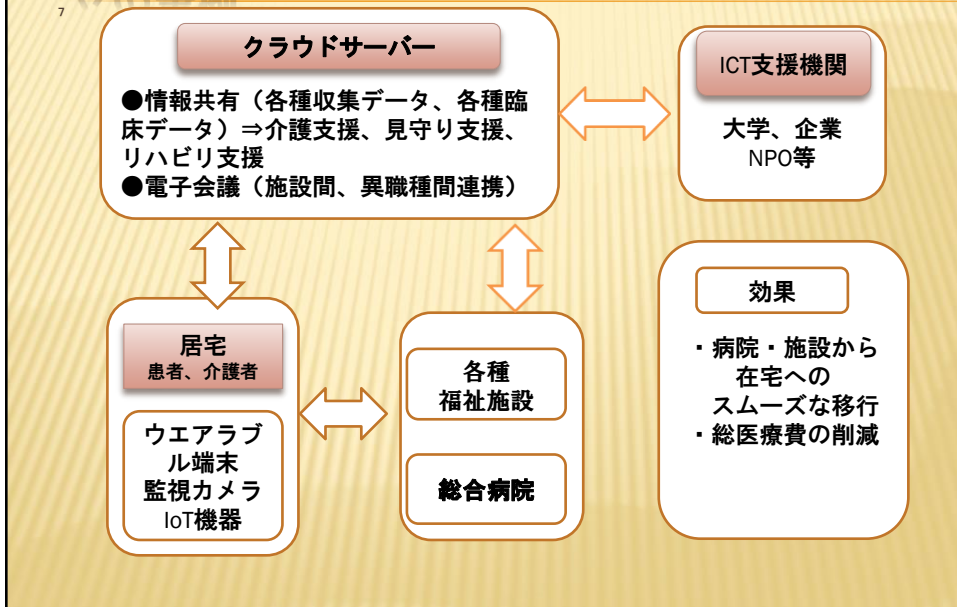
コンセプト



多職種連携と情報共有



在宅ケア向け広域連携ネットワークシステムの事例



今後の課題

- 実現のための産学連携、医工連携の推進
- 物づくりへの早期着手